

ひおき 市議会だより



平成19年11月
第10号



リズムに合わせて行進だ～（吹上地域運動会にて）

9月定例会 主な内容

- 議員定数条例を22名で制定 …… P 2
- 市民の声はどう活かされたか？ … P 16
- 常任委員会報告（補正予算） …… P 4
- 各委員会所管事務調査報告 …… P 17
- 一般質問・議会の動き …… P 8
- 議会中継を始めました・編集後記
- 請願・陳情はこうなりました … P 15
- …………… P 20

条例を22名で制定！

9月定例会

9月定例会を9月10日（月）から10月1日（月）までの22日間にて開催し、条例・予算議案など22件、承認2件、発議1件、意見書1件を可決しました。
また、平成18年度決算認定15議案は、決算審査特別委員会を設置し閉会中の継続審査となりました。

新設された条例

日置市議会議員定数条例

次回一般選挙より議員定数を30人から22人にする。また、区域割りは廃止となる。

一部改正された条例

日置市体育施設条例

B&G東市来海洋センター、東市来庭球場、東市来相撲場を指定管理者制度導入に向けて使用料の見直しを行う。

日置市政治倫理の確立のための市長の資産等の公開に関する条例

郵政民営化法の施行、証券取引法等の一部改正による。

【主な内容】

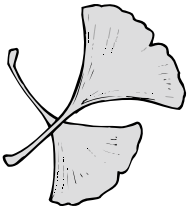
政治倫理の確立のための日置市長の資産等の公開に関する条例に題名変更。条例中の「郵便貯金」を削除。「証券取引法」を「金融商品取引法」に改める。

日置市情報公開条例・日置市個人情報保護条例・日置市防災会議条例

郵政民営化法の施行による。

【主な内容】

条例中の日本郵政公社の削除。



その他の議案

人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

12月31日をもって任期満了となるため、新たに委員として推薦する。

本村 一男 氏【伊集院町麦生田】

専決処分（鹿児島県市町村土地開発公社定款の一部変更）につき承認を求めることについて

10月1日に屋久島町、12月1日に南九州市の誕生に伴い公社定款の一部変更をする。

専決処分（平成19年度日置市一般会計補正予算（第2号））につき承認を求めることについて

7月14日の台風4号により、多大な被害が発生し、災害復旧に緊急を要したた



今後の運営に期待がかかるチェスト館

め。

【主な内容】

4395万7千円の追加。

伊集院中学校校舎（管理特別教室棟）建築工事請負契約の締結について

建築工事を施工するため、工事請負契約を締結する。

【主な内容】

金額 4億8510万円
相手方 株式会社 東建設
工期 平成20年9月30日

鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について

南薩地区衛生管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び南薩地区衛生管理組合規約の変更に関する協議について
12月1日に新たに設置される南九州市の加入による。

日置市伊集院都市農村交流施設チェスト館に係る指定管理者の指定について
チェスト館の指定管理者であった伊集院都市農村交流振興協会が法人化し、株式会社チェスト館に変更したため。

詳しくは6ページ産業建設委員会報告へ



整備が望まれるJR伊集院駅

議員定数

一般会計予算の補正		
補正額 2億1,911万円 増額 総額238億7,783万3千円		
費目名	主な事業内容	補正額
企画費	バス利用者実態調査に伴う賃金、旅費など	137万6千円
賦課徴収費	個人市県民税、法人税、固定資産税の還付金など	1,121万円
児童福祉総務費	美山保育園拡張、厳浄寺保育園改築補助金など	7,452万2千円
農業振興費	防霜ファン及び東市来中晩柑部会暖房機等の設置など	1,304万8千円
農地費	伊集院下谷口地区転倒ゲート事業決定など	1,605万5千円
街路事業費	伊集院駅周辺整備基本計画等委託料など	8,336万円
特殊地下壕対策事業費	県事業の壕口封鎖工事など	291万5千円
教育委員会事務局費	スクールカウンセラー配置事業など	208万7千円
学校管理費	中体連の九州・全国大会出場（4中学校・8大会分）の補助金など	319万円
農地農業用施設災害復旧費	4月豪雨災害（日吉地域）査定、7月豪雨災害（吹上地域）申請によるもの	△5,271万1千円
公共土木施設災害復旧費	梅雨前線豪雨及び台風4号による災害分	1億934万3千円
し尿処理費	伊集院地域のし尿及び浄化槽汚泥を攪拌ポンプにて濃度の均一化を図るため	400万円

特別会計予算の補正		
会計名	補正額	補正後予算
国民健康保険	1億438万9千円	67億9,849万2千円
特別養護老人ホーム事業	569万6千円	2億9,187万6千円
公共下水道事業	60万4千円	5億1,356万7千円
農業集落排水事業	105万2千円	4,510万4千円
国民宿舎事業	1,294万4千円	3億345万8千円
国民保養センター及び老人休養ホーム事業	486万2千円	686万2千円
温泉給湯事業	189万7千円	714万4千円
公衆浴場事業	1万9千円	396万5千円
飲料水供給施設	3千円	50万5千円
住宅新築資金等貸付事業	0円	500万9千円
介護保険	2億2,320万1千円	46億5,116万8千円

公営企業会計（収益的収入及び支出）		
会計名	補正額	補正後予算
国民健康保険病院事業	0円	3億6,427万円

常任委員会

報告

総務企画

一般会計補正予算

歳入で主なものは、普通交付税の交付額の確定で7億2581万円、吹上地域の不動産売り払い収入が2250万円、公用車売却にかかる物品売り払い収入が383万円の増額補正と、制度改正に伴う地方特例交付金の8819万円が減額補正された。

歳出で主なものは、職員の病休・育休、扶養者数や居住地の変更などによる人件費の変更、議員報酬の3%カットによる議会費の減額、本庁舎・日吉支所の庁舎維持補修費の増、バス利用者実態調査費、防災有線・ケーブルテレビ導入に関するニーズ調査の委託料の増、大河ドラマ「篤姫」キャンペーン事業の協賛金、防災行政無線個別受信機の修繕費などを計上した。

質疑の主なもの

問▼公用車売却でバキュームカーの売り払いとあったが、この車は必要なのか。詳細はどうか。

答▼バキュームカーは旧町時代に液肥を運ぶために使っていたが、合併後に必要なくなった。公用車はクラウンが18万9千円、大型バキュームカーが216万円、小型バキュームカーが36万8千円、Wピクダンブが16万8千円、バックホーが94万5千円で売却できた。

問▼自主防災組織の各地域の普及率はど



防災は日頃の心構えが大切です

うか。また、年々訓練の仕方や意識が薄れてきているので、普及啓発について行政がフォローできないのか。

答▼東市来63・9%、伊集院30・9%、日吉62・7%、吹上31・7%である。行政側では、県が自主防災組織のアドバイザーを派遣する事業を行っている。本市の底上げをしていくことも大切である。

問▼バス利用者実態調査はどのように行うか。どの路線が対象になるのか。

答▼調査はアルバイトを使い、始発から終点まで乗車して行う。路線は、鹿児島交通が空港バス、伊作・鹿児島、伊作・伊集院高校の3路線、林田バスが空港バス、3号線・鹿児島島の朝夕の便、湯之元・日置、段々・妙円寺・伊集院駅など補助対象として扱っている路線全てと、4地域のコミュニティバスが対象となる。

問▼防災行政有線・ケーブルテレビ導入に関するニーズ調査委託料とは、どのような内容か。

答▼これまでの旧4町の防災行政無線を有線化するとともに、ケーブルテレビへの任意加入へのニーズ調査を行い、10月中に各小学校単位で市の考え方を説明したい。総務省の事業で補助申請する際に、このニーズ調査が必要になる。全世界の1割と共聴組合が調査の対象となる。

問▼大河ドラマ「篤姫」キャンペーンを行う、観光がしま大キャンペーン推進協議会とはどのような組織か。日置市はどのようなキャンペーンを行うのか。

答▼協議会は71団体で運営されている。今回の補正の「篤姫」キャンペーン協賛金は、平成19年・20年の2年間行う。鹿児島市が1500万円、指宿市が300万円、霧島市・知覧町・日置市が100万円ずつ負担する。日置市は資料提供やボランティアアガイドの育成などを行う。

国民宿舎事業特別会計補正予算

歳入の主なものは、前年度繰越金の確定に伴う繰越金の増額である。

歳出で主なものは、電気式給湯機設置の工事請負費、国民宿舎事業基金の積立金と予備費の増額である。

質疑の主なもの

問▼基金の積立が500万円とあるが、内容はどうか。

答▼突発的な支出に充てる基金で、以前から積立を行っている。現在、4100万円積み立てており、今回500万円増で、基金は4600万円となる。

問▼吹上砂丘荘の利用状況はどうか。

答▼8月末までの状況は、宿泊が601

3人で532人の減。休憩が31208人で10216人の増である。レストランが4月にリニューアルオープンしたが、ランチが市内外で評判となり、平日でも待ち時間が出る状況である。

国民保養センター及び老人保養ホーム事業特別会計補正予算

歳入の主なものは、前年度繰越金の確定に伴う繰越金の増額である。

歳出で主なものは、江口浜荘の施設維持修繕料と予備費の増額である。

質疑の主なもの

問▼施設維持修繕料の100万円は、具体的に何の修繕に充てるのか。

答▼当初予算で100万円計上したが、非常用誘導灯のバッテリー交換や屋上の室外機修繕などで既に86万円使っており、予算残が少ない。この他にも、ボイラー室のパイプ水漏れ修理を早急にしなければならぬので、補正予算で計上した。



老朽化した江口浜荘のボイラー室

一般会計補正予算

歳入で主なものは、児童措置費国庫補助金「次世代育成支援対策施設整備交付金」として、市立保育所施設整備に伴う交付金4747万円。前年度精算に伴う介護保険特別会計繰入金3645万円である。

歳出で主なものは、老人福祉費で20年度老人保健福祉計画策定に伴う実態調査のアンケート配布回収業務および分析等で77万円。児童福祉総務費で美山保育園拡張整備補助金300万円、厳浄寺保育園改築補助金7120万円。児童措置費で障害児保育事業実施園の2園増。保健センター管理費で東市来地域のエアコン10台分の修理・清掃で18万円、塵芥処理費でゴミ袋販売手数料668万円などである。



改築が予定される厳浄寺保育園（吹上）

質疑の主なもの

問▼地域福祉計画を策定するが、どのように計画するのか。

答▼現在は「子育て支援計画」「障害者計画」「障害者福祉計画」「老人保健福祉計画」「介護保険事業計画」を策定しているが、地域福祉計画は総合的なものである。

問▼保育園の定員等の見直しはどうか。

答▼見直しは、園からの申し出がない。

問▼園児の入所状況と今後どのような傾向にあるか。市外からの園児は何人か。

答▼市内全体で見ると増加傾向にある。鹿児島市など近隣市町からの入園が増えている。市外からの入園者は6月末で73名である。

問▼公立保育園のあり方検討委員会の目的は何か。

答▼市内に3園ある公立保育園の民営化に向けた検討委員会である。委員会の提言書は来年3月予定である。

問▼公立と民営のメリット・デメリットは何か。

答▼公立は補助金が出ない。私立だと補助金を受けられるため、運営負担が軽減される。民営化により生み出される財源を休日保育・病後時保育・夜間保育・延長保育などに充てたい。

問▼園児の奪い合いになっている所がある。園児数に問題はないのか。

答▼定数に至らないと運営が難しくなるので、特色を出して定数確保に努めている。

問▼吹上地域のごみ収集は、管理公社と随意契約であるが、今後の方針は。

答▼従来の方針を堅持する。



ごみ収集は来年4月から袋収集に統一されます

国民健康保険特別会計補正予算

歳入の主なものは、医療給付費交付金で18年度確定による追加交付分2898万円。繰越金は、18年度繰越金確定により7540万円。

歳出で主なものは、法改正に伴う受給者証等の印刷製本費増と医療費確定による拠出金の増額。国保ヘルスアップ事業で血液検査委託料の増である。

質疑の主なもの

問▼医療費の動向は怎么样了なっているか。

答▼一般の一人当たり、17年度は32万975円、18年度は32万7442円である。

問▼国民健康保険税の今後の見直しはどうか。

答▼平成18年度から22年度にかけて、均一課税により調整する。健康保険法の改正で、国民健康保険対象者の75歳以上の方が後期高齢者医療広域連合に移るな

ど、まだ先が読めないところもある。今後は、健康づくり運動が大事ではないかと思う。

特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算

歳入で主なものは、平成18年度繰越金確定に伴う569万円増。

歳出で主なものは、あり方検討委員会の謝金。ナースコール設置工事費131万6千円の増である。

質疑の主なもの

問▼青松園について、職員を含めて園の今後のあり方をどのように考えるか。

答▼今のところ黒字だが、黒字額が1年間で1600万円から870万円に減っている。介護報酬が下がってきているので、財政面で厳しくなる。今年に入り、短期入所が減ってきている。

温泉給湯事業特別会計補正予算

温泉給湯事業基金の積立利率の変動、ならびに前年度決算確定に伴う基金積立金の増額補正を行うもの。

公衆浴場事業特別会計補正予算

公衆浴場事業基金の積立利率の変動、ならびに前年度決算確定に伴う基金積立金の増額補正を行うもの。

介護保険特別会計補正予算

歳入の主なものは、保険料賦課確定による現年度特別徴収保険料5696万円、普通徴収保険料2966万円を増額補正した。

歳出の主なものは、保険料確定に伴う

介護給付費準備基金繰入金8749万円、前年度繰越金確定に伴う介護給付費繰越金1億7774万円、介護予防事業地域支援事業繰越金1412万円、その他地域ケア体制整備モデル事業導入に伴う筆耕賃金などを増額補正した。

質疑の主なもの

問▼地域ケア体制整備モデル事業に伴い広島県尾道市への研修が予定されているが、どのような内容か。

答▼在宅介護のケアプラン作成前に担当者で事前のケア会議を行うが、尾道市の場合、在宅であっても医師が会議に参加する。主治医は家庭の状況などを把握しており、よりの確かな助言を受けられる。

国民健康保険病院事業会計補正予算

資本的支出として、購入後28年経過したシャワーストレッチャーの購入費を47万円、レセプト作成のための医療会計システム構築費302万円を計上した。

産業建設

伊集院都市農村交流施設チェスト館に係る指定管理者の指定について

伊集院都市農村交流振興協会が法人化し、株式会社チェスト館となることに伴い、新たに指定管理者として指定する。法人組織にする理由として、施設の責任の所在の明確化、取締役等の会社に対する責任の明確化、決算公告の義務化による会計の透明性の確保である。

質疑の主なもの

問▼株券の発行はどうなっているのか。

1人何株まで購入できるか。

答▼株主は、出荷会員で伊集院地域内に限定である。正会員は、伊集院地域で野菜の出荷者。準会員は、農産物以外の出荷者。特別会員は、伊集院地域以外の者になる。発行株数は1000株、1人1株(1000円)の限定。現在の発行株数は369株である。

問▼株の配当はどうなるのか。

答▼剰余金は、毎事業年度末日現在における株主名簿に記載または、記録された株主に支払う。

問▼赤字になった場合と、施設の充実が図られた後、株式会社でも市が負担をするのか。

答▼年度別協定書の中に通常の営繕はチェスト館が負担すると結んでいる。施設の改善・外装の吹付けや増築は、市が負担するとなっている。

問▼物産館の手数料は一律なのか。

答▼チェスト館は13%である。

一般会計補正予算

1億1280万6千円を増額し、総額59億223万7千円になる。

歳入の主なものは、農林水産業費や現年補助農地農業用施設災害復旧事業費の県補助金の増額補正。災害復旧費国庫負担金の増額等である。

歳出の主なものは、防霜ファン設置費、東市来中晩柑部会暖房機等設置費の県採択による増額。伊集院下谷口地区の転倒堰改修事業費。4月豪雨災害査定による減額と7月豪雨災害復旧申請による増額。道路維持費で、舗装・側溝・排水路・路肩法面補修等増額。その他、18年



市道四郎園線の橋りょう工事 (伊集院)

度の精算による補正や事業費組替えに伴う減額、増額を相殺したものである。

質疑の主なもの

問▼全国和牛能力共進会場付近には、宿泊施設がないと聞かすが、予算は十分か。

答▼報償費は前回の内容を参考にした。普通旅費は、通常の旅費規定で積算した。

問▼有害鳥獣駆除の計画頭数と内容は。

答▼有害鳥獣の補助金及び交付金の組替えて実質補助金は132万円。(伊集院イノシシ30頭、シカ10頭。東市来イノシシ50頭、シカ50頭。日吉イノシシ15頭、シカ0頭。吹上イノシシ60頭、シカ5頭)

問▼吹上漁港の浚渫工事は、毎年実施されているが、何が原因か。また、この砂を日吉、東市来の海岸侵食のところへ持って行けないか。

答▼18年度に、国の交付金事業(3100万円)で実施。原因は、川港のため高

潮・しけ・台風等による海岸からのものと思われる。移送には多額の経費がかかるため、河口の南側に返す計画である。

問▼国の災害査定、入札はいつ頃か。

答▼査定は9月19日の予定。入札は10月下旬の予定。

問▼公共土木施設災害復旧費は、吹上はあるが、日吉はなかったのか。河川の県管理費では、寄り洲は県が払うが堤防は払っていない。県にも要望すべきでは。

答▼補助事業のものではなく、小規模だけである。河川は、市が負担してまで実施しない。要望はするが難しいと思う。

問▼ウッドタウン緑ヶ丘の遊具の耐用年数は何年か。補修等はどこまで市が負担するのか。

答▼耐用年数は計算をしていない。修繕は、壊れた場合に市が負担をする。

問▼伊集院駅周辺の設計委託料の内容は。

答▼だいわ横の交通広場を含めた西側、東側を結ぶ。住民・JR・公安委員会と協議していくための基本設計である。着工時期、完成の目途は立っていない。

問▼伊集院徳重地区の区画整理はいつまでか。

答▼補助事業の当初計画は今年度まで。国に補助期間4年、施工期間3年の延長をお願いし、協議中である。

問▼特殊地下壕対策事業費は増額され、今年度東市来6カ所、伊集院10カ所となった。補助は3年間と聞くが、全部終わるのか。

答▼国の事業に満たない200万円以下の事業で、民間の掘った壕も対象とした県の事業である。市内に96カ所ある。

(地権者が危険でない)と判断、または望まないのが25カ所) 危険なところから進めていきたい。

公共下水道事業特別会計補正予算

60万4千円を追加し、総額5億1296万3千円である。

歳入の主なものは、一般会計からの繰入金で18年度精算による起債償還分である。

歳出の主なものは、過誤納返戻金と借入の利子確定による増額である。

質疑の主なもの

問▼下水道普及率はいくらか。

答▼伊集院地域は62・5%。市全体で28・7%である。

問▼過誤納返戻金は何名分か。また理由は何か。

答▼1名分である。18年度分であったので、過年度として今回補正をした。

農業集落排水事業特別会計補正予算

105万2千円を追加し、総額4510万2千円である。

歳入の主なものは、前年度繰越金の確定による増額。

質疑の主なもの

問▼公共下水道と集落排水からの汚泥処理費が違う理由は何か。

答▼処理方法と規模の違いがある。処分については、公共下水道が産業廃棄物、集落排水が一般廃棄物となる。

飲料水供給施設特別会計補正予算

前年度繰越金の確定に伴い3千円を追加し、総額50万5千円とする。

住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算

前年度繰越金の確定に伴い、一般会計からの繰入金を減額する。

教育文化

日置市体育施設条例の一部改正

日置市B&G東市来海洋センター、東市来庭球場及び相撲場への指定管理者制度導入並びに施設などの使用料の見直しによる。

質疑の主なもの

問▼指定管理者を募ることになるが、引き受けるところはあるのか。

答▼希望的観測ではあるが、鹿児島市のスイミングクラブに参加してもらえたらと思う。樋脇のB&Gは警備会社に委託している。

問▼指定管理に出す意義は何か。

答▼経費面で、職員2名分が削減される。

問▼使用料はどうなっているか。

答▼プール使用料は変わらない。

※今後は、公募をして選定委員会にて指定管理者を決定。仮協定書の締結を行い、12月議会で仮締結の議案を提出することになる。

一般会計補正予算

教育費に関わる予算は、2211万円増額し、総額28億1386万円になる。

歳出で主なものは、スクールカウンセラー配置事業費54万円。スクールリングサポート事業費40万円。小学校英語教育推進事業委託金62万円である。

質疑の主なもの

問▼小学校英語教育推進事業の内容は。

答▼伊集院小学校が県指定を受けた。英語塾の教師を講師に、6学級1回2時間で35回分の予算である。

問▼学校評議員の外部評価結果の公表、議会や市民へ評価の公表はどうなっているか。

答▼学校評議員は、各学校4〜5人委嘱している。公表はしていないが、教育委員会に評価が送られている。

問▼学校給食は、今後センター方式に移行する考えはないか。

答▼現在、日吉地域は単独自校方式。吹上地域は、吹上中と永吉小が単独自校方式。伊作小を拠点に花田小と和田小がブロック調理方式である。見直しは進めているが、財政的な問題もある。

問▼給食センターの運営委員会は、市全体か。または各地域にあるのか。



伊集院地域給食センター

問▼市全体の運営委員会はない。

答▼スクールリングサポートは、なぜ今回補正にあがったのか。

答▼昨年までは、適応指導教室であった。学校に行けない子供たちを対象に週4回程、活性化センターで相談や学習、遊んだりして学校の登校日数と代えられ。今年から補助が打ち切られるので予算計上した。

問▼中体連の大会出場補助金は、基準をどこに合わせたのか。

答▼従来通りである。

問▼東市来中央公民館建築設備検査委託料を県住宅総合センターに毎年支払っているが、職員では対応できないのか。

答▼多くの人が集まる特殊建造物である。内容は、建築設備、換気、非常用照明などの点検である。建築士の資格を持つ職員で対応できるか確認をしていない。



指定管理者へ移行するB&G海洋センター

一般質問

これから どうする！ 『日置市』

9月定例会では12名の議員が登壇し、
日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



子育て支援の充実を！



長野 瑛や子
議員

質問1 新少子化対策に民意を反映し、
踏み込んだ子育て支援の充実を

未就学前までの4、5歳児の入園、保育料や中学生までの医療費の無料化等で保護者負担の軽減、子育て支援センターの規模、設備等の拡充を図るべきでは。

答弁1 子ども支援センターの充実や少子化支援を重点的に図る。〔市長〕

子ども支援センターに10月より家庭相談員を配置し、教育・保健・福祉の連携を密にし、少子化対策を20・21年度に重点的に検討する。日吉地域の子育て支援センターは20年度に設置する。

質問2 環境政策の推進と、ごみ分別・減量化への取り組みについて

本市は環境自治体の会員であり、環境政策を確立運用し、チェックする環境自

治体スタンダード(LASIE)を取得すべきでは。空き缶ポイ捨て禁止条例の実効性や、資源ごみ袋収集方式統一に伴う保存版の手引書配布の検討は。

答弁2 LASIEの取り組みは手法や考え方の方の研究を重ねたい。〔市長〕

環境計画を策定する上で新しい手法のLASIEは今後研究する。山間部、道路等の不法投棄、ポイ捨て防止対策として看板設置、警察等の連携を密にして周知徹底を図る。市民への分かり易い分別と資源化への手引書等を配布する。

子どもエコクラブの取り組みは各学校でやっている所もある。〔教育長〕

質問3 篤姫放映を契機と捉え、歴史・文化を活かした観光PRを

篤姫の母や兄は永吉島津家出身であり、ゆかりの地の放映PRを積極的に。文化財等の写真展示や金銅菩薩立像の国指定への働きかけと展示等は。

答弁3 篤姫ゆかりの地の観光ルート等を今後お願いしていく。〔市長〕

地域の誇りの助長としてあらゆる機会を利用し、資料・写真展示をする。

県への金銅菩薩立像の情報提供し、レプリカ像の展示も検討。〔教育長〕

質問4 自治基本条例の検討、職員人材育成基本方針の充実、配布は

コミュニティづくりと並行し自治基本条例も推進すべき。人材育成に関する意識調査結果、女性管理職登用、方策の実施計画を記載し全員配布の考えは。

答弁4 地域振興計画策定後に自治基本条例を。部局の意見集約、方策の数値目標等を見直し、配布を検討。〔市長〕



池満 渉

議員

質問1 男女共同参画基本計画・案に対する市民からの意見募集について

市民からの意見を求めるにあたり、その内容はわかり易く、広報は充分だったか。期間内に何人からの意見が寄せられたか。どのような内容だったか。出された意見はどのように反映されるか。

答弁1 31人から意見が出されたが、主旨の説明不足もあり、少なかつた。市長

横文字の使用や字句の説明不足など配慮に欠けるともあつた。市内外から教育現場における平等や性教育のありかた、男らしさ・女らしさなどについての意見があつた。懇話会において充分協議され、意見集約し必要な意見は計画案に盛り込む。

質問2 小規模校が多い本市の小中学校の現状と今後について

中学校7、小学校19の本市の学校数規模について現状をどう認識し、今後の財政状況などから、どのように対応するか。小規模校の良さと課題について。本年度の学校予算と、今後の学校改築予定とその予算見込みを示せ。児童数の減少は避けられない。学校統合の問題などどのような形で検討するか。

答弁2 地域の住民・保護者などと充分協議し、あり方を模索していく。市長

完全複式が1校、一部複式が5校あり小規模校が多い。小規模校は、きめ細やかな指導で家族的な雰囲気もあるが、子ども同士の団体行動ができていく、クラ



複式学級での学習支援ボランティア（日吉・扇尾小1・2年生）

ブ活動も制限される。本年度予算は総額約12億円。今後の予定4校を全て改築すれば、約39億円が必要。国庫補助2割で、他は起債によるが後年度の交付税措置もある。学校の統廃合問題は地域の拠り所としての役割など複雑にからみあい、行政だけでは解決できない。住民・保護者などとして協力し、地域の実情に応じた将来のあり方を模索していく。

質問3 全国一斉学力テストの結果はどのような形で公表するか

今年にも結果が判明するが、市民・保護者の関心も高い。どのような形で公表し、その結果を今後の教育行政にどう活かすか。

答弁3 各教科の平均などホームページも使い、市民に全体を公表する。市長

学校名・個人名は除き、2教科の平均点と学習状況調査の結果も公表する。学校での指導力向上と家庭学習のあり方など、向上に一層努力する。



松尾 公裕

議員

質問1 地区公民館での証明書の発行日数を増やすことはできないか

①地区公民館運営の取り組み状況と相談窓口としての機能は充実しているか。
②証明書の発行状況は。また発行日数を増やすことはできないか。
③湯田地区公民館は福祉センター、学童保育、地区公民館と3つの業務が同居しているが、「地域づくりの拠点」として地区民を受け入れる窓口機能を整備する必要があると思うが。

答弁1 証明書の発行日数については、状況を見て検討する。市長

①地区公民館26地区で実施し、3人体制で条例公民館運営をしている。地域づくりの拠点として進めている。
②証明書の発行は3ヵ月間で129件で、発行日数については今後状況を見て検討していく。
③湯田地区公民館は、3つの業務があるために煩雑しており、配置の問題は今後三者で協議をしていく。

質問2 養蚕試験場跡地の利用について

養蚕試験場跡地の県との交渉はどうなっているか。また跡地利用で公営住宅の検討はしたか。

答弁2 今後、具体的活用策を示し無償譲渡を県に要望する。市長

4haのうち、2・7haの畑を農業関係の活用策として要望していきたい。公営住宅は新規の建設は難しい。



湯田地区公民館が入る東市来総合福祉センター

質問3 ごみ袋全市統一と袋の記名や分別の徹底を

①ごみ検討委員会の結論は日置市全体にとっては正しい答申であつたと思うが、今後全市袋統一に向けて袋の記名や分別を徹底して取り組む考えか。
②各ステーションでのボランティア指導員を置くべきではないか。

答弁3 来々年4月から全市一斉に袋収集にしていく。市長

①ごみ分別検討委員会で全市袋収集が望ましいと結論が出て、来々年4月より一斉に実施し、袋の記名についても説明会を開催し理解していただく。
②ボランティア指導員については自治会と協議していく。



西園 典子
議員

問1 男女共同参画基本計画策定で懇話会の役割や責任は

先の世界大戦の反省で、国連は男女平等が世界平和の源であるとして、男女共同参画を推進してきた。わが国は少子高齢化や社会の成熟化に対応するため、一層の必要性が求められている。国の基本法で、市は国に準じた施策、地域の特性に応じた施策を実施する義務がある。市が国の施策を後退させてはならないとしている。懇話会、ワーキンググループ、推進本部の役割と責任は。

答弁1 基本理念実現のため、市民と行政の協力で取り組む **【市長】**

市民代表の懇話会が現状を把握しながら、ワーキンググループからの施策を検討し、計画として市長に提言する。推進本部は、提言を確認して具体



男女共同参画を真剣に考える懇話会

策を検討し予算化する。策定の責任は市長である。

問2 パブリックコメントの市民への周知は適切だったか

パブリックコメントは、市民生活に直接重大な影響を与える政策の形成過程において、公正・透明性の向上と市民との協働を目的として実施される。今回出された内容に、市広報紙や国の基本法・県の条例に合わない文言があるのは、混乱を招くのではないか。行政文書としてのパブリックコメントは、推進本部で検討し責任あるものを出すべきでは。

答弁2 計画策定の途中であり懇話会のものである **【市長】**

どのような反応があるかと、懇話会の意見をそのまま出した。パブリックコメントは31件寄せられたが、それぞれ個人の考えである。懇話会の中でも意見の相違があったと聞く。少数意見も大切だが、幅広い意見としての懇話会を含め、推進会議でも充分論議する必要がある。

問3 計画案は少子高齢化対策や教育に充分か。職場としての日置市はどうか

家庭と仕事の両立支援が大切だが、育児休業から復帰した女性が配置転換に苦労するとも聞くがどうか。

答弁3 男性の参画や支援体制の整備が必要 **【市長・教育長】**

子育て支援や高齢者等が安心して暮らせる環境づくりが必要。次代を担う青少年の育成や人権教育に意義ある重要な計画である。鹿児島島の風土として、役割分担意識は残っているが、体制はできつつある。育児休業で職場が変わることはないが、人事の関係で異動はある。



坂口ルリ子
議員

問1 提言箱の現状は

市内12カ所に設置、ホームページでも受け付けている。24件提言があり、内容は行政サービス、政策提案、施設改善、ゴミ問題等である。本庁舎東側入口階段の手すりは、住民の提言で設置された。

答弁1 提言を市政に活かしていく **【市長】**

市内12カ所に設置、ホームページでも受け付けている。24件提言があり、内容は行政サービス、政策提案、施設改善、ゴミ問題等である。本庁舎東側入口階段の手すりは、住民の提言で設置された。

問2 伊集院駅東口の設置について

駅東口ができれば、伊集院高校生だけでなく、駅を利用する住民も助かる。9月補正予算で285万円の調査費がついたが。

答弁2 財源をどうするかなど、検討を行う **【市長】**

国分駅を参考に、視察も行った。JRと協議し、規模・予算・財源など検討する。高校生の通学の安全も図りたい。

問3 歳出の徹底削減を

市長は4年の任期が過ぎる毎に退職金(1700万円)をもらう。減らす気はないか。議員への各種審議会日当は、税金の二重取りでは。市役所の灯りが夜遅くまでついていて、無駄使いではないか。19年度から市長公用車の専任運転手がいるが、不必要と思うが。

答弁3 すべての面で歳出削減を指導していく **【市長】**

すべての面で歳出削減を指導していく



提言がカタチになった庁舎の手すり

退職金は退職手当組合で決められている。給料月額×勤続期間×100分の500で計算。議員への手当は条例で決められており、議会で協議し改正してほしい。専任運転手は2級整備士で、全ての公用車の点検、マイクロボスの運転もする。残業を減らす工夫をする。

問4 国保税の値下げはできないか

国民健康保険基金は3億4668万円だが、準備基金として3ヵ月分の10億1800万円が必要なので、値下げできない。国保対象は12164世帯で、滞納金は3億4081万円にのぼる。

答弁4 値下げはできない **【市長】**

国民健康保険基金は3億4668万円だが、準備基金として3ヵ月分の10億1800万円が必要なので、値下げできない。国保対象は12164世帯で、滞納金は3億4081万円にのぼる。

問5 庁舎内の駐車場のあり方は

来客用駐車場は用意してある **【市長】**

西側49台、東側24台用意してある。職員は他の場所に決めてある。



谷口 正行
議員

質問1 市長の退職金支払は、しっかりと明記すべきでは

市長の退職金支払に対し条例では、支払方法や計算方法などが明記されていないため、退職金額がいくらか知る由がない。条例のあり方として、はっきりと一目瞭然に支払方法、計算方法、退職金額を明記すべきだと思うが。

答弁1 他の市町村を参考に検討したい
【市長】

一部事務組合で決めていることだ。明記すべきかは他の市町村も参考にし、条例化するかどうか検討していきたい。

質問2 市長1期の退職金額はいくらか

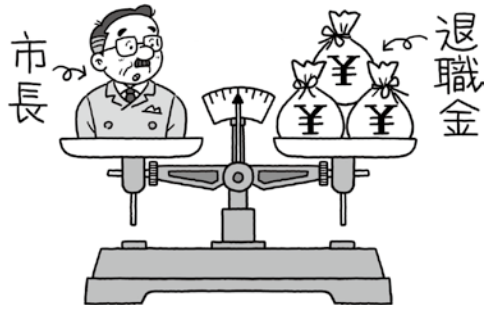
1期勤めた市長の退職金はいくらか。また、その退職金額に対して市長自身多と思うか、少ないと思うか。

答弁2 約1700万円である
【市長】

市長退職金は1期4年で1700万円程である。退職手当組合で全国の市町村の平均を考慮し支給しており、適正な額だと思う。負担金は一般職と特別職を合わせて4億2千万円である。これは自己負担ではなく、すべて公費負担である。

質問3 退職金制度を市議会議員が審議できないのはおかしい

現在の退職金制度は、市の会計から離れた一部事務組合で運用されている。この組合に本市から4億2千万円の負担金が出ているにも関わらず、市の議員が何



ら審議できないのはおかしいと思うが。

答弁3 議長会代表も入る総合事務組合議会でも審議する
【市長】

現制度は総合事務組合議会で、県下の市町村長会代表、議長会代表の計20人で構成、審議されており、住民の理解と納得を得られているものと考えている。

質問4 市民感情や経済動向を見て、妥当な金額か
【市長】

小泉元総理は知事や市長の退職金は多すぎると廃止勧告した。小泉さんの退職金は5年で658万円であった。比較して市長の1700万円は、やはり多すぎると思う。市長は市民感情や現在の経済情勢からみて、妥当な金額だと思うか。

答弁4 金額は今後、組合議会で検討したい
【市長】

私も組合議員であり、今後どうあるべきか、組合の中で審議していきたい。また、退職金に関し「市民感情も考慮すべき」と、私の方から一部事務組合議会に提案していきたい。



大園 貴文
議員

質問1 物品購入・入札工事などは地元活用をすべき

市の財政は極めて厳しい状況で、市税の確保を図り、歳出の50%を占める義務的経費（人件費）の削減を進めるべきだ。同時に官から民へ移行できる事業を検討し、自主財源確保へ向け、地元企業や商店の活用を図るために、物品購入や入札工事に関する参加資格要綱の見直しをすべきと思うが。

答弁1 物品購入は市内業者を優先し、建設業は20年度に検討する
【市長】

市税確保は重要課題だ。財源を確保し歳出の削減で適正な予算に努めたい。物品購入は地域の活性化の観点から競争性を確保しつつ、市内業者を優先する。建設業者は、地元に着目し社会活動を行う企業の指名・ランク付けで資格審査に充分考慮し、20年度に見直しを検討する。

質問2 公営の病院・幼稚園・保育園の民間活用は

公立病院、幼稚園、保育園の存続について、サービスが低下しない形で検討し、民間事業所の活用で経費削減に努め、行政のスリム化を図るべきと考えるが。

答弁2 病院は当分市が運営。幼稚園・保育園は今後論議をする
【市長】

市民病院は、規模縮小と建て替えて、市が当分運営する。公立保育所は16年度から国の補助が廃止され財政的に厳しい。今後、あり方検討委員会の中で利用

者を含め、十分説明し論議したい。
質問3 定住促進策として新たな子育て支援金の導入は

出生から小学校入学時まで子育て支援金として、補助金の新しい制度を導入し、鹿児島市に隣接する自然豊かな町、安心して生み育てられる魅力ある日置市として定住促進を図れないか。

答弁3 十分論議し、定住促進に繋がらない
【市長】

地方の活力、未来の宝の子供たちに子育て支援計画に基づき、少子化対策の方法に十分論議して定住促進に繋がらない。

質問4 市周遊バス開設の進捗よく状況について

地域コミュニティバスを含め地域公共交通会議で検討
【市長】

路線バス廃止等により、本年6月に地域公共交通会議を設置し、地域コミュニティバスを含め市全体の検討に着手している。



市内周遊バスの開設を！（鹿屋市のくるりんバス）



でみず
出水賢太郎
議員

質問1 指定管理者制度の事業評価体制の確立を

指定管理者制度導入後、1年が経つ。各地で倒産等による指定取消や事業休止の事例もあるが、本市では問題ないか。財務状況等を客観評価し、利用者の声も反映する事業評価制度が必要だが。

答弁1 管理評価システムの構築に努めたい
【市長】

各施設の運営は概ね順調だ。修繕や改修で、市と業者の間で費用負担の線引きなど難しい問題もあり、その度協議している。公募施設は業者本体の経営がしっかりしなければ、指定施設の運営に支障が出る。サービスや施設管理、財務状況などの評価システムの構築に努める。

質問2 地区振興計画の具体化、予算や総合計画への反映はどうか

地区振興計画策定は、道路や施設の改修など地区の要望を集約し、地区の将来像を決める重要な作業だ。策定方法、予算や総合計画への反映はどうか。

答弁2 来年8月末までに策定、21年度から3年の実施計画となる
【市長】

地区館長や自治会長に説明し、地区館ごとに協議体制を作る。住民自らが地区の課題や要望を掘り起こし、地区の総意として優先順位をつけ計画策定する。財政計画・行政改革アクションプランと整合し、地域審議会や総合計画審議会に諮問、総合計画の中の次年度実施計画に盛り込む。来年8月末迄に策定し、21年度

から3年の実施計画になる。地区振興計画は、限られた財源の中で、地区の課題を効率的に解決するための土台となる。

質問3 デマンド交通の導入で、地域の足を確保できるのでは

県はデマンド交通（事前予約制の乗合ジャンボタクシー又は小型バス）の導入や車両の小型化など、地域特性に合う交通への変更に向けた補助制度で支援する。本市でも、路線バスが通らない地区や山間部の集落には、玄関先から目的地まで運び、高齢者や障がい者に優しいデマンド交通の導入を図るべきでは。

答弁3 公共交通の利用調査も踏まえ、検討したい
【市長】

10月中にバス利用の実態調査やアンケートを行い、公共交通検討委員会に結果報告する。また、デマンド交通も選択肢の一つとして事例紹介し、運行経費などを検討する。路線バス、コミュニティバス、デマンド交通のすみ分けを図り、日置市に合った運行形態を検討したい。



栃木県芳賀町のデマンドタクシー「ひばり」



花木 千鶴
議員

質問1 妙円寺団地の歩道・道路の補修をどう考えるか

妙円寺団地は開発されて30年経つが、歩道や道路の傷みが目立ってきた。特に大規模な身障者施設のある1区・2区の歩道は、椅子歩行には危険な状況である。また、6区や7区の道路は陥没した所が数カ所ある。管理者として、計画的に年次の補修をするべきではないか。

答弁1 優先度の高いところから整備する
【市長】

舗装面の劣化が見受けられる。自治会からの要望により補修してきたが、今後も継続して年次的に整備を行いたい。

質問2 特別支援教育支援員を配置しない理由は

法によって、特別な支援を要する児童生徒に対して適切な教育を行うことにならているが、人的支援がないために、学校現場は対応に苦慮している。そのようなか、支援員配置のための財源が交付税措置された。しかし、本市では1名の支援員も配置されていないがなぜか。来年度に引継ぐため、今年度中に1名でも配置する考えはないか。

答弁2 特別な支援を必要とする児童生徒はいなかった
【教育長】

現在、来年度への配置に向けて具体的な調査をしている。

質問3 男女共同参画基本法の理念と本市基本計画は、今後の本市の施策を左右

する重要なものだ。推進本部長である市長が、どのような考えで推進体制を築いていくのか。基本法の理念・本市推進本部とワーキンググループの研修体制は。基本計画はどう施策化するのか。

答弁3 基本計画の方向に基づき、具体的施策に取り組む
【市長】

法の定義を実現するため理念があると考える。法の理念に基づいた取り組みを進めている。今後、研修も充実させる。

質問4 資源ごみの袋収集で、本市の環境政策を推進できるか

環境問題は人類の存亡をかけた問題でもある。市民にとって最も身近な環境問題は、ごみの分別である。来年4月から袋方式に統一するというが、市民の意識向上、資源化率の向上を図れるか。

答弁4 排出者が徹底した分別をおこなうことが基本である
【市長】

各自自治会ごとの説明会で周知徹底する。併せてリサイクルセンターでの分別を行い、環境政策を推進していく。



妙円寺団地の市道



重水 富夫
議員

質問1 指定管理者制度導入1年後の現状は

- ① 現在まで何か所なされたか。
- ② 市全体で対象は1241施設あるが、今後は何か所を計画されているか。
- ③ 計画中の施設はいつまでに終わるか。
- ④ 指定管理者より毎月収支報告書が提出されている。導入前より改善がなされているか、どのような分析をされているか。

答弁1 導入前より改善に向かっている
【市長】

- ① 23施設を導入済み。
 - ② 335施設が可能である。
 - ③ 検討委員会の結果を踏まえ進める。
 - ④ 以前より経費面など改善されている。
- 質問2** 建設業の入札制度のあり方に、もっと気配りを



地場産米の活用を！

① 市発注の土木工事で、クラス毎に工事件数に差があり過ぎる。どうかして貰いたい、との声を多く聞く。その対策・対応の考えはないか。

② 建築は、市内業者育成や町の活性化等の点から、市内業者に発注すべきである。どうしても大手が必要な時は、市内業者とのJV方式の考えはないか。

答弁2 来年度の見直しに向け、現在検討中
【市長】

- ① ばらつきはある。来年度、格付け見直しを行うため、現在検討中である。
- ② 特定JV方式は、国や県も見直しの傾向にある。本市では可能な限り、地元業者が受注できるような、分離分割方式の採用を検討する。

質問3 「地産地消」II 学校給食用米の拡大購入はできないか

昨年より地場産米の購入が始まった。学校現場の評判は良いと聞く。現状は、
① 市内全校での米の消費量はいくらか。
② 市内生産者団体からの18年度実績は。
③ 今年度を含め、今後の購入予定計画は。
④ 学校給食会等の市外業者から購入する理由があるか。
⑤ 地元産米購入を増やすべきと思うが、何か不都合があるか。

答弁3 条件を整えば増やしていく
【教育長】

- ① 市全体で46966kgである。
- ② 市全体で5952kgである。
- ③ 品質が良く、安定供給がなされるなら、年次的に増やすことは可能である。
- ④ 特別な理由はない。
- ⑤ 最近、無洗米との対応が難しい。



坂口 洋之
議員

質問1 地球温暖化の本市の影響と市民への啓発活動の充実を

今、世界各国で地球温暖化の影響が指摘されている。これは国際的問題でもあるが、まず個人が温暖化に対する認識を持ち、こまめな省エネが大切である。本市の温暖化の影響はどうか。
市民や職員に対しても、省エネ、資源の活用が大事である。啓発活動を充実させるため、ワーキンググループを作り、各地域の集いなどで、温暖化の現状・省エネの啓発活動を充実させるべきではないのか。

答弁1 市民一人ひとりに省エネや資源の活用等を啓発したい
【市長】

温暖化により農林水産物の生産の減少、集中豪雨などの影響がある。高温による電力エネルギーの消費などがあり、市も事業所として省エネに取り組んでいる。今後、環境基本計画も作成されるので、市民や職員に啓発しながら、本市としての温暖化対策に取り組んでいく。

質問2 伊集院駅の一時利用駐車場の月極有料化を

駅前の一時的利用駐車場は常習的な長時間駐車が多く、本来の利用ができない時間帯がある。駅西の市営月極駐車場は利用希望が多く、現在50台待ちである。月極利用者や待機者からは一時駐車場の必要性に疑問の声が上がっている。送迎の車はロータリーに停車することも多く、本来の利用以外が多いので、月極利用にす



伊集院駅の一時利用駐車場

べきではないか。

答弁2 駅西側所有地の開発計画もあり、今後検討する
【市長】

送迎用の30分以内という趣旨で設置している。違反車両もあり、市が定期的に巡回・チェックし、マナー改善を呼びかけている。今後、駅近辺の開発もあり、民間駐車場の状況も含めて検討していきたい。

質問3 公立保育園の運営は保護者会の意向を尊重すべきでは

民間委託の説明会があったが、保護者の声は公立として残して欲しいという声が多い。保護者会として公立存続の要望も行ったが、今後とも保護者の意向を尊重し大事に進めて欲しいが。

答弁3 今後とも市の考えを保護者に伝えたい
【市長】

保護者説明会では賛成・反対の意見が出された。今後3回ほど、あり方検討委員会を開き、市としての考え方を伝えたい。また、保護者にも十分説明したい。



田畑 純二
議員

質問1 総合計画の中の「いきいきすこやか拠点整備プロジェクト」について

- ① 取り組み状況はどうか。整備するためプロジェクトを編成すべきでは。
- ② 市民病院あり方検討委員会の結果と今後の方針は。
- ③ 地域包括支援センターの現状は。
- ④ 青松園あり方検討委員会の設置理由は。
- ⑤ 中長期的ビジョン策定は考えないか。

答弁1 財政的な問題やそれぞれ取り組んでいるので無理である(市長)

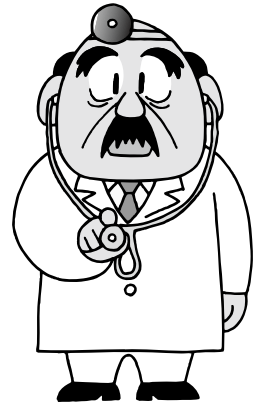
- ① 制度改正により拠点づくりの必要があれば、検討していく。
- ② 現在の規模を縮小し、19床の診療所として建て替え、市が直接運営する。
- ③ 順調に業務が行われており、設置目的に沿って支援に努める。
- ④ 介護報酬が引き下げられ、運営も厳しい。様々な方向から検討すべき。
- ⑤ 中長期計画の策定は難しい。

質問2 財政問題について

- ① 地方財政健全化法をどう捉え、健全な財政運営の維持にどう活かすか。
- ② 自立財政への戦略はどうか。
- ③ 収支見通しと地方債の実態はどうか。
- ④ 住民参加型市場公募債を発行しないか。

答弁2 歳出削減をさらに進め、健全な財政を確立したい(市長)

- ① 財政状況を示す指標公表に向け準備



中。

- ② 自主財源の確保と借入総額の抑制を考えている。経常経費の削減や起債残高の抑制、普通建設事業の効率的投資に努め、自立財政を図りたい。
- ③ 今後も収支不足が予想され、歳入に見合った歳出への転換を図る。地方債の19年度末残高は約352億円。
- ④ 発行は考えていない。

質問3 廃止路線代替バスの利用について

- ① 県下では利用が6割弱と低迷しているが、本市の実態はどうか。
- ② このままではバス存続が危ういが、地域活性化につながる利用策は。
- ③ 県の補助制度の見直しで、市は持続可能な交通体系をどう考えるか。

答弁3 公共交通検討委員会で協議し、交通体系を構築したい(市長)

- ① 本市の実績では、そのような実態は見受けられない。
- ② バス事業者とも連携し、公共交通検討委員会で協議して頂きたい。
- ③ デマンド型を含め、乗合タクシーの運行など検討したい。

議会の動き

- 8月1日 行政視察来庁(和歌山県岩井市議会)
- 2日 市町村政研修会(鹿児島市)・行政視察来庁(茨城県議会)
- 21日 全員協議会
- 29日 行政視察来庁(青森県三沢市議会)
- 9月3日 議会運営委員会
- 4日 市町村議会広報研修会(鹿児島市)
- 10日 全員協議会・第5回定例会(第1本会議)
- 11日 総務企画・環境福祉常任委員会
- 12日 第1回広報編集委員会
- 産業建設・教育文化常任委員会
- 20日 第5回定例会(第2本会議・一般質問)・全員協議会
- 21日 第5回定例会(第3本会議・一般質問)・総務企画常任委員会
- 25日 第5回定例会(第4本会議・一般質問)
- 28日 議会運営委員会
- 10月1日 全員協議会・第5回定例会(最終本会議)
- 4日 決算審査特別委員会
- 行政視察来庁(兵庫県南あわじ市)
- 9日 第2回広報編集委員会
- 17日 決算審査特別委員会
- 18日 決算審査特別委員会
- 19日 第3回広報編集委員会
- 22日 全員協議会・決算審査特別委員会
- 23日 決算審査特別委員会
- 24日 総務企画常任委員会行政視察(福岡県嘉麻市・熊本県菊池市)
- 30日 決算審査特別委員会
- 31日 決算審査特別委員会



総務企画常任委員会の行政視察(熊本県菊池市)

請願・陳情はこうなりました！

9月定例会で審議された皆さまからの請願書・陳情書は次のとおりです。

請 願					
件 名	提 出 者	付託先	結 果	【意見書提出先】	紹介議員
J R不採用問題の早期解決を求める意見書の採択について	田丸 三郎	総務企画 常任委員会	不採択		坂口 洋之
実効性のある地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書提出を求める件	穂満 真理代 外6名	環境福祉 常任委員会	採 択	内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・環境大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・文部科学大臣	西蘭 典子

陳 情				
件 名	提 出 者	付託先	結 果	【意見書提出先】
日置市立伊集院中学校仮設校舎空調（エアコン）設備に関する陳情	伊集院中学校保護者 代表 松本 忠徳	教育文化 常任委員会	採 択	
南アジアの核軍拡競争を防ぐため原子力供給国グループ（NSG）での慎重な議論を求める意見書の採択について	吉留 良三	総務企画 常任委員会	採 択	
障害者の生活事態に即した障害者自立支援法の運用に関する陳情書	「出直せ自立支援法」緊急フォーラム実行委員会 代 表 所崎 治代 地域代表 木村 由美	環境福祉 常任委員会	継続審査	

■ 請願・陳情の手続き ■

請願・陳情は、国民の権利として憲法で保障されており、国民の参政権を具体化するための一つとして、「請願」「陳情」があり、どなた（日本人・法人・外国人）でも提出できます。議会に提出された「請願」「陳情」は、その内容により、関係する委員会に付託され、慎重に審査されます。

請願には、1人以上の紹介議員が必要です。陳情には紹介議員の必要はありません。

記載事項

- ・ 件名、要旨、理由を邦文を用いて記載してください。
- ・ 提出年月日、請願（陳情）者の住所・氏名を記載し押印してください。
- ・ 請願には、紹介議員1人以上の署名押印が必要です。
- ・ 場所を特定するものは、案内図等を必ず添付してください。
- ・ 用紙の大きさはA4版で、横書きとしてください。
- ・ 随時受け付けておりますが、議会日程の都合上、事前に議会事務局へお問い合わせください。

(TEL273-2111)

議会審議の追跡調査

市民の声はどう活かされたか？



AEDの普及が急がれる（救急講習会）

自動体外式除細動器（AED） 導入・普及の考えは！

市民の救命率を向上させる取組みとして自動体外式除細動器（AED）の導入・普及が必要であるがどうか。
【平成18年3月・12月定例会】

市長の答弁は…

「計画的に導入をしていきたい」

救急講習会等の実施を含め、体育施設に年次的に導入をしていきたい。

その後、こうなりました！

市内各中学校に整備

19年度に市内の7中学校と、B&G東市来海洋センターに自動体外式除細動器（AED）を整備。

教室に扇風機をつけよ！

異常気象により、教室内の温度が心配である。学びやすい学習環境を整備するため、各教室に扇風機をつけるべきでは。
【17年12月・18年6月定例会】

教育長の答弁は…

「今のところ考えていない」

人は、本来様々な環境に対応して、体の機能をうまく調整しながら生きていく能力を持っている。その機能を使わせて育てるのも教育的な配慮である。

その後、こうなりました！

市内各中学校に扇風機設置

19年度に日吉中学校を除く市内各中学校に扇風機を設置。



教室の扇風機（吹上中学校）

調べてきました！

各委員会所管事務調査報告

《総務企画常任委員会》

【調査事項】

- ① 地域インターネットの整備状況、防災行政無線統合の計画、ケーブルテレビの計画について。
- ② 住吉地区公民館（日吉）と花田地区公民館（吹上）での各種証明書発行状況などについて。

【調査結果】

● 地域インターネットの整備と地区公民館での証明書発行状況について



防災行政無線

旧日吉町・東市来町で整備していたが、合併後に地域間情報インフラの格差是正のため、「日置市インターネット基盤施設整備事業」として26の小中学校、74の公共施設（3郵便局を含む）を接続、総延長13.9kmのネットワークを構築した。

これにより、21地区公民館と3郵便局で証明書発行業務が開始され、30の公共施設で議会中継が行われるなど、市内の情報通信基盤の整備が行われている。

● 防災行政無線について
証明書発行は週2回だけで、利用が少ない。利便性の向上と市民への周知徹底により、更なる利用促進を図りたい。

● 防災行政無線について
合併前、旧日吉町が昭和52年に全戸有線方式で整備した。旧吹上町は平成2年に全戸無線方式で整備、旧伊集院町は平成6年に全戸無線方式で整備、旧東市来町が平成9年に全戸有線方式で整備し、現在はそれぞれの機器で運用している。電波法の改正により、防災行政無線は



いづれ周波数統合に合わせて機器更新をしなければならない。更新には多額の費用を要することから、整備方法や財源確保が大きな課題となる。

● ケーブルテレビの計画について

2011年7月24日で地上アナログ放送が終了することにあわせ、県内でも一部で地上デジタル放送が始まっている。アナログ放送からデジタル放送へ切り替える際、国は低価格チューナーの開発・普及の計画を進めているが、本市においても市民への周知徹底、共聴アンテナ組合の設備変更など、どのようにするか早急な対応に迫られている。

本市では難視聴地域も多いことから、2011年7月の地上アナログ放送終了までに、地上デジタル放送への対応とケーブルテレビ整備への結論を出す必要がある。直営で整備するか、民間委託するか、莫大な整備費用の財源、費用対効果の問題、市民への周知徹底、各家庭の

負担、高齢者世帯への対策など待ったなしの状況である。

《環境福祉常任委員会》

【調査事項】

市民福祉部、クリーンリサイクルセンター、青松園、市民病院の各事業の調査。

【調査場所と結果】

● 伊集院北保育所

● 伊集院北児童館
児童館の機能よりも、地区公民館としての利用が多い。利用形態に合った名称に変更すべきとの意見があった。

● 伊集院老人福祉センター

築32年で老朽化し、利用率も良くない。多額の費用をかけ改修し、存続させるべきか疑問。近隣の「ゆすいん」との一体的な運営を求める意見があった。

● 伊集院健康づくり複合施設「ゆすいん」



クリーンリサイクルセンターで説明を受ける

昨年9月から指定管理者として(有)日章が運営しており、委託料は2850万円である。更なる努力を願いたい。

●伊集院衛生処理場

●中原ごみ処分場(伊集院)

●クリーンリサイクルセンター

可燃ゴミの中にプラスチック類が多く含まれ、焼却炉が高温となり炉の傷みが心配である。炉の耐用年数は15年だが、ゴミ分別と保守管理の徹底により、最低でも20年以上は利用したいとのこと。

●永吉保育所(吹上)

●和田児童館(吹上)

●市営公衆浴場(吹上)

昨年9月から指定管理者として(株)有園が運営し、黒字化となった。弾力的な運営に配慮が必要ではとの意見があった。

●滝之平産廃処分場(吹上)

(株)栄和産業が運営し、市・地域住民・事業者の間で環境保全協定を締結した。総合的な検査体制の確立と搬入連絡の徹底を求める意見があった。

●芋野産廃処分場(吹上)

●赤仁田処分場(吹上)

周辺の水質検査など検証すべきとの意見があった。

●市立国民健康保険病院(日吉)

築30年で老朽化し、修理費もかさんでいる。診療報酬の改定で、医療収入が大幅に落ち込み赤字だ。必要な施設なので存続してほしいが、民間との競合や採算性なども考慮すべきとの意見があった。

●日吉老人福祉センター

●特別養護老人ホーム青松園(日吉)

職員の欠員でサービスが低下せぬよう、人材確保を図るべきとの意見があっ



山田処分場(日吉)での現場視察

た。

●山田処分場(日吉)

●ゴト穴処分場(東市来)

●ゆのもと保育所(東市来)

道路や鉄道が隣接しており、フェンス設置など安全対策が必要との意見があった。

●東市来総合福祉センター

地区公民館、学童クラブなど併設されているが、小学校から福祉センターまでは国道3号を横断する必要がある、危険である。子どもの安全を考えれば、学童保育は小学校近辺で行うべきである。

●地域包括支援センター

今年4月に開設され、介護予防ケアプランの作成にあたる。介護認定については、当事者への説明責任をしっかりと果たしてもらいたいとの意見があった。

《産業建設常任委員会》

【調査事項】

農林水産課・土木建設課・都市計画課・水道課・下水道課の各事業の調査。

【調査場所と結果】

●県単ため池整備事業 二石地区(日吉)

老朽化による漏水など確認され、今年度補修工事を予定している。水量等勘案し、かんがい排水事業の利用も検討すべきである。

●県営公共治山事業 日置辻ノ園地区・松木園地区(日吉)

●吉利地下壕 内門地区(日吉)
陥没が進み危険なため、全容を解明し、早急に工事を終了するべきである。

●林地荒廃防止事業 堂園地区(吹上)

●市道日添今木場線災害復旧工事(吹上)



林地荒廃防止事業(吹上・堂園地区)



イチゴの雨よけハウスを視察(伊集院・中川地区)

昨年7月の豪雨災害で市道が一部崩落し、その復旧工事を行った。工事は終了したが、雨水の流末処理が適切ではない。災害事故に繋がらないよう処理すべきである。

●中央地区簡易水道第2浄水場(吹上)

●江口蓬萊館増設工事(東市来)
来客数が年間42万7千人と多く、売場面積の慢性的な不足が目立ち、車椅子利用者が利用しにくい面があったため、増築を行うものである。

●湯之元第一地区土地区画整理事業(東市来)
平成15年度から着工し、18年度の進

ちよく状況は事業費ベースで17%、面積で8%である。財政状況が厳しいが、当初計画に沿うように事業費の確保に努力すべきである。

●中川ゆすむら農園(伊集院)

●市単独事業 雨よけハウス(伊集院)

本市の基幹作物「イチゴ」の育苗管理、病害虫被害の拡大防止のために整備

した。今後は、全市的に普及すべきである。

●**チエスト館駐車場改修工事（伊集院）**
 来客数が年間42万9千人と多く、既存駐車場が不足し、イベント広場を臨時駐車場にしていたが、表面の石が破損し危険なため、駐車場に改修するもの。舗装工事を安価にする方法を模索すべきである。

●**終末処理場（伊集院）**
 公共下水道の終末処理を行う。安全管理に留意してもらいたい。

《教育文化常任委員会》

【調査事項】

- ①校舎の耐力度調査について。（伊集院中学校・伊作小学校）
- ②東市来中学校プール施設の状態について。
- ③日吉中央公民館の施設の状態について。
- ④地区公民館の運営状況について。（住吉地区公民館）

【調査結果】

●**校舎の耐力度調査について**
 文部科学省は昭和45年以前の校舎について、耐力度調査を行うよう指導している。今年度は伊集院小・伊集院北小・上市来小・伊作小が予算計上されている。また、伊集院中は既に解体・建築が進んでいる。伊作小は18年度の耐震度優先調査で危険度が高いため、耐力度調査委託料800万円が予算計上されている。
 本市の学校施設の多くが経年数が高



耐力度調査を行う 伊作小学校

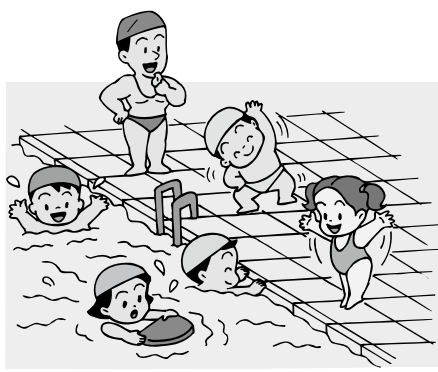
く、早急な改善が望まれる。

●**東市来中プールの状況について**
 築40年のプールだが、ろ過装置が故障し機能せず、衛生上の問題がある。更衣室も老朽化しており、見学者テントの設置なども検討すべきである。

また、プールの消毒を含めた衛生面は、市内全校で調査してほしいとの意見があった。

●**日吉中央公民館の状況について**
 今回、屋上の雨漏りを防ぐため、アクリルゴム系塗膜による防水工事を行う。建物自体の老朽化が目立つ。

●**地区公民館の運営状況について**
 住吉地区公民館では、すでに設立総会を開き、組織編制、講座の開催など順調な滑り出しである。証明書発行はまだ少ないが、今後の周知と利用を期待したい。建物は住吉小学校協にプレハブ建てのため、屋根の雨音が大きいとのことである。



住吉地区公民館（日吉）

ある。
 市内全域で地区公民館組織の充実が求められる。市として、統一的な運営の確立ができるよう、調整がなされるべきである。

《決算審査特別委員会が設置されました》

平成18年度の日置市の決算を審査するため、地方自治法第110条および第233条に基づき、「決算審査特別委員会」を設置した。

目的は、歳入の確保がしっかりとなされているか、歳出が適正に執行されたか、などを決算書や成果報告書といった資料に基づいて審査し、住民に代わってその効果を評価するものである。

そして、決算年度における財政運営が適正であったか、その計画性・弾力性・積極性を総合的に判断し、議会として次年度の財政運営の改善と健全化に役立てるよう、慎重な審議を行う。

この決算の審査結果は12月定例会で報告され、本会議で認定の採決を行う予定である。なお、委員会の定数は12人で、委員は次の通りである。

委員長	田畑 純二
副委員長	梶 康博
委員	鳩野 哲盛
〃	谷口 正行
〃	松尾 公裕
〃	坂口ルリ子
〃	池満 渉
〃	鶴園 秋男
〃	並松 安文
〃	花木 千鶴
〃	上園 哲生
〃	出水賢太郎

市民のみなさん、 市内の公共施設で 議会中継を始めました!



《9月定例会の議会中継を地区公民館でご覧になった方からの感想です》

- 議会中継を初めて見て、議会の様子が分かった気がする。
- お互いに資料に沿って流れていることが分かった。
- 議員さんの熱のこもった質問など、私たち市民の代表、頼もしく思いました。
- 資源ごみの収集について、身近な問題でよい勉強になりました。
- 質問内容にバラつきがあった。具体的な質問がもう少しあっていいのでは。
- 行政側の答弁をもっと明確にして欲しい。
- 質問要綱を見ながらの視聴でよく分かったが、要綱がないと内容をよく理解できないのではと感じた。
- 議会の様子が同時中継で視聴できることは、とても良いことだ。
- 質問者や答弁者の態度や表情もよく分かった。
- 質疑応答の問題が難しいことまでおよぶなと思いました。
- 自分達が知らない事を聞けるのは良い事だと思う。真剣によく聞かないといけない。
- 質問内容などが文字化されれば、質疑応答が分かりやすくなると思う。

《次の場所で議会中継を行っております》

市役所本庁1階ロビー、各支所1階、市中央公民館(伊集院)、
東市来文化交流センター、吹上中央公民館、各地区公民館、
美山陶遊館、ゆすいん、市民病院、日吉保健センター、吹上砂丘荘

編集後記

長かった猛暑も和らぎ、朝晩はだいぶ涼しくなり、やっと秋らしい天候になってきました。台風など大きな災害もなく、稲刈りや栗拾いなど、豊かな実りの秋になったのではないのでしょうか。
さて、国政では福田内閣が発足し、中央と地方の格差是正が焦点となっており、私たちが地方に住む者にとって、国の動向は大変気になるところです。国会での議論を注視したいものです。
私ども市議会では、9月定例会において、慎重に補正予算の審議を行い、市政全般に対し、私たち議会と市当局の間で有意義な議論が活発に交わされました。今後、来年度の予算編成にしっかりと活かされることを希望したいと思います。
私たちが広報編集委員会でも、市民の皆さんに分かりやすい広報紙づくりを目指して、広報編集クリニックに参加し、編集・構成の方法や写真の配置など、様々な勉強をして参りました。市議会だよりに対してお意見・ご感想がございましたら、議会事務局または広報委員までお知らせ下さい。お待ちしております。

発行責任／議長 畠中 實弘
編集責任／議会広報編集委員会
委員長 並松 安文
副委員長 出水賢太郎
委員 花木 千鶴
坂口 洋之
門松 慶一
大園 貴文
鶴園 秋男
上園 哲生